

平成24年度

(第 1 回)

(集団研修)

**農業地域における経営力、マーケティング
強化による地場産業振興**

実施要領

平成 24 年 11 月

独立行政法人国際協力機構(JICA)

Japan International Cooperation Agency

目 次

1. 案件基本情報	1
2. 案件の背景・目的	1
3. 案件目標	2
4. 単元目標	2
5. 研修成果品	2
6. 研修員参加資格要件	3
7. 研修実施体制	3
8. 研修の評価	4
9. 研修付帯プログラム	5
10. 主な宿泊場所	5
11. その他	6

参考資料

付表－1 研修員関連情報

付表－2 研修日程表(案)

付表－3 年度別受入実績表

1. 案件基本情報

(1) 案件名

和文: (集団研修) 農業地域における経営力、マーケティング強化による地場産業振興

英文: Group Training Program on “Local industry development in agricultural regions by strengthening capacity of management and marketing”

(2) 受入期間

平成 24 年 11 月 19 日(月)～ 12 月 21 日(金)

(3) 技術研修期間

平成 24 年 11 月 26 日(月)～ 12 月 20 日(木)

(4) 定員、割当国

定 員: 20 名 (受入数 20 名)

割当国: フィリピン、東ティモール、パキスタン、パレスチナ、トルコ、アフガニスタン、エジプト、
南アフリカ、スワジランド、タンザニア、ブルキナファソ、ペルー、アルメニア、アル
バニア、モルドバ、グルジア (下線は受入国)

(5) 研修類型: 課題解決促進型

(6) 使用言語: 英語

2. 案件の背景・目的

発展途上国では経済成長に伴い都市部と地方部間の所得の格差が広がりつつある。地方部の所得向上のためには、都市部のニーズに関心を払いそのニーズに応じた産物を、生産、供給することが重要である。多くの国では地方部において「一村一品」事業が展開されている。この事業を通じて様々な物産が各地で開発、生産されてきた。それらの多くが残念ながらあまり売れ行きは良くなかった。この大きな原因の一つがマーケティングに関する知識と手法にある。いくつかの産物はよく売れたが、所得の向上にはつながっていない場合もあった。これも経営に関する知識、手法に原因がある。

本研修では、中央、地方政府の公務員と地方開発に携わるNGOや商工会議所、農業協同組合リーダーといった人材を対象に、農業生産地域の中小企業経営及びマーケティングに関して

中核となる人材を育成することを目的とする。このため、本研修では、農業生産地域における中小企業振興につながる、経営理論やマーケティング戦略に基づく実践的事業計画を作成する。

3. 案件目標

自国において収益増加につながる実践的な地場産業振興策が企画される。

4. 単元目標

- (1) 国、地域における、農業振興、中小企業振興政策、支援制度を理解する。
- (2) 中小企業の経営手法を習得する。
- (3) 農産物、加工品の付加価値化に必要なマーケティングスキルを習得する。
- (4) 経営、マーケティングの教育手法を習得する。
- (5) 研修で学んだ知識、スキルを反映した自国のアクションプランを作成する。

5. 研修成果品

- (1) 本邦研修実施前

「初期報告書(Inception Report)」の作成

研修の主題にかかる研修員および所属組織の課題やそれに対する現在の組織としての対策・枠組みをまとめ、本邦での研修開始時に発表する。

- (2) 本邦研修終了時

「中間報告書(Interim Report)」の作成

研修で学んだ知識や手法等を基に活動計画(案)を作成し、本邦研修終了時に発表する。

- (3) 帰国後の事後活動

「最終報告書(Final Report)」の作成

研修員は帰国後、中間報告書に書かれた活動計画(案)を所属組織に報告、関係者と共有のうえ、最終的な活動計画(案)をまとめ、帰国後3ヶ月以内に JICA 北海道国際センター(帯広)に提出する。JICA 北海道(帯広)は同報告書を関係者と共有のうえ、次年度以降に実施される研修項目に内容をフィードバックし、必要に応じフォローアップを検討する。

6. 研修員参加資格要件

(本案件資格要件)

- (1) 農村開発、中小企業支援分野の行政官、商工会議所職員、NGO、農業組合のリーダー
- (2) 農村開発、中小企業支援分野において3年以上の実務経験を有する者。

(各案件共通資格要件)

- (4) 所定の手続きにより割当国政府から推薦されること。
- (5) 大学卒業あるいは同等の学力を有すること。
- (6) TOEFL iBT 72 点 (CBT 200 点／PBT 533 点) 以上に相当する英語能力を有すること。
- (7) 心身ともに健康なこと。
- (8) 軍に属していないこと。

7. 研修実施体制

本案件は、コースリーダーの助言のもと、独立行政法人国際協力機構北海道国際センター(帯広)が計画するコースの実施に関する業務をインサイトマネジメント株式会社に委託し、帯広市周辺関係諸機関、企業の協力により実施・運営する。研修期間中、JICA は研修監理員を配置する。

具体的な業務分担は次のとおり。

(1) JICA

- ア. 研修計画作成
- イ. 評価
- ウ. 実施予算の確保、執行管理
- エ. 募集要項および実施要領等の作成 等

(2) インサイトマネジメント株式会社

- ア. 日程表の作成・調整
- イ. 講師、視察先等への連絡・確認

ウ. テキスト、資料等の手配 等

(3) コースリーダー

研修の計画、実施、評価の全般にわたる助言 等

(4) 研修監理員

ア. 関係者間の連絡調整

イ. 通訳・翻訳 等

8. 研修の評価

(1) 評価の目的

研修目標に向け、研修成果の測定・分析を通じてコース終了時に当初目標の達成度を確認する。また、今後の研修で改善すべき点をあげ、本案件の質的改善を図る。

(2) 評価の方法

ア. コースリーダー等による到達目標の達成度把握

イ. 研修員が提出する質問票による評価

ウ. JICA による評価

(3) 評価会

研修終了時に質問票の記載事項の確認を中心とした評価会を実施する。

(4) 反省会

研修員の帰国後に、評価結果に基づき JICA 北海道(帯広)、インサイトマネジメント株式会社が参加し、研修の目的・内容、プログラム構成、指導方法等について協議し、翌年度のコース改善に向けて対応方針を検討する。

9. 研修付帯プログラム

(1) ブリーフィング

来日直後に北海道国際センター（帯広）で実施する。JICA業務およびコース概要説明、研修員登録、旅券・査証の有効期間の確認、支給される諸手当の説明等のほか、日常生活を送る上での諸注意を行う。

(2) ジェネラルオリエンテーション

JICA 北海道（帯広）にて、日本の社会と日本人、日本の政治・行政、経済、教育などを紹介する。

(3) 日本語講習

研修員の日常生活および国際交流のため、簡単な日常会話程度の語学力修得を目的として7.5時間の日本語講習を実施する。

付帯プログラム日程（予定）

日 程	内 容
11 月 20 日（火） 夕刻	ブリーフィング 日本語講習
21 日（水） 午前 午後 夕刻	ジェネラルオリエンテーション 講義「日本の政治・行政機構」 生活オリエンテーション、バスツアー 日本語講習
22 日（木） 午前 午後 夕刻	ジェネラルオリエンテーション 講義「日本の経済」 講義「日本の教育」 日本語講習

10. 主な宿泊場所

北海道国際センター（帯広）

所在地：〒080-2470 帯広市西20条南6丁目1-2

Tel(0155)35-1210 Fax(0155)35-1250

11. その他

(1) 修了証書

研修を修了した研修員に JICA から修了証書を授与する。

(2) 研修員の待遇

ア. 入国資格

技術研修を受けるために来日する者は研修査証を取得し、滞在中は日本国法規の適用を受ける。

イ. 滞在費

JICA 規程に基づき研修を受けるために必要な手当が支給される。

以上



独立行政法人国際協力機構 北海道国際センター（帯広）
〒080-2470 北海道帯広市西20条南6丁目1番地2
TEL：0155-35-1210 FAX：0155-35-1250
ホームページ：www.jica.go.jp/obihiro/
メール：jicaobic@jica.go.jp

研修日程表(案)

日付	時刻	形態	研修内容	講師 使用 言語	研修場所
11/19(月)	～		来日		
11/20(火)	～	講義	ブリーフィング	英語	OBICオリエンテーション ルーム
	17:00 ～ 19:30	講義	日本語講習	日本語	
11/21(水)	9:30 ～ 11:30	講義	オリエンテーション（日本の政治・行政機構）	英語	OBICオリエンテーション ルーム
	17:00 ～ 19:30	講義	日本語講習	日本語	
11/22(木)	9:30 ～ 11:30	講義	オリエンテーション（日本の経済）	英語	OBICオリエンテーション ルーム
	13:00 ～ 15:00	講義	オリエンテーション（日本の教育）	英語	
	16:00 ～ 18:30	講義	日本語講習	日本語	
11/23(金)			祝日 勤労感謝の日		
11/24(土)			休日		
11/25(日)			休日		
11/26(月)	9:15 ～ 9:45		帯広市表敬訪問	日本語	
	10:30 ～ 12:00		コースオリエンテーション	英語	OBIC S4
	13:30 ～ 17:00		インセプションレポート発表会	英語	オリエンテーションルーム
	17:00 ～ 17:30		交流会	英語	会議室
11/27(火)	9:00 ～ 12:00	見学	地域人材育成事業の取り組み	英語	帯広畜産大学
	13:00 ～ 16:30	講義	フードバレーの取り組み	英語	OBIC S4
11/28(水)	9:00 ～ 12:00	講義	ケースメソッド教授法（クリティカルシンキング）		帯広経済センター ビル6F 中会議 室A
	13:00 ～ 16:30	講義	クリティカルシンキング(DVD)	英語	
11/29(木)	9:00 ～ 12:00	実習	ビジネスプラン作成（経営ゲーム）	日本語	オリエンテーションルーム
	13:00 ～ 16:30	見学	事例見学 お菓子製造 柳月	日本語	柳月
11/30(金)	9:00 ～ 12:00	実習	柳月 ケースディスカッション	英語	オリエンテーションルーム
	13:00 ～ 16:30	講義	ビジネスプラン作成2（講義）	英語	
12/1(土)			休日		
12/2(日)			休日		

日付	時刻	形態	研修内容	講師 使用 言語	研修場所
12/3(月)	9:00 ~ 12:00	講義	マーケティング基礎 1	英語	OBIC S4
	13:00 ~ 16:30	実習	マーケティング基礎 2	英語	
12/4(火)	9:00 ~ 12:00	講義	マーケティング基礎 3	英語	OBIC S4
	13:00 ~ 16:30	見学	事例見学 パン製造 満寿屋商店	日本語	満寿屋商店
12/5(水)	9:00 ~ 12:00	発表	満寿屋商店ケースディスカッション	英語	OBIC S4
	13:00 ~ 16:30	講義	事業戦略基礎 1	英語	
12/6(木)	9:00 ~ 12:00	実習	事業戦略基礎 2	英語	OBIC S4
	13:00 ~ 16:30	講義	事業戦略基礎 3	英語	
12/7(金)	9:00 ~ 12:00	見学	事例見学 畜産加工 エレゾ社	日本語	エレゾ本社
	13:00 ~ 16:30	発表	エレゾ社ケースディスカッション	英語	オリエンテーションルーム
12/8(土)			休日		
12/9(日)			休日		
12/10(月)	9:00 ~ 12:00	講義	組織戦略基礎 1	英語	オリエンテーションルーム
	13:00 ~ 16:30	実習	組織戦略基礎 2	英語	
12/11(火)	9:00 ~ 12:00	見学	事例見学 菓子製造 桜慈工房	日本語	桜慈工房
	13:00 ~ 16:30	実習	桜慈工房ケースディスカッション	英語	オリエンテーションルーム
12/12(水)	9:00 ~ 12:00	講義	財務戦略基礎 1	英語	オリエンテーションルーム
	13:00 ~ 16:30	実習	財務戦略基礎 2	英語	
12/13(木)	9:00 ~ 12:00	見学	事例見学 農家カフェ K's farm	日本語	(株) k's farm
	13:00 ~ 16:30	実習	k's farm ケースディスカッション	英語	オリエンテーションルーム
12/14(金)	9:00 ~ 12:00	実習	ビジネスプラン作成 3	英語	オリエンテーションルーム
	13:00 ~ 16:30	発表	ビジネスプラン作成 4	英語	
	18:30 ~ 21:00	実習	地元経営者とのディスカッション	英語	
12/15(土)			休日		
12/16(日)			休日		
12/17(月)	9:00 ~ 12:00	見学	事例見学 乳製品加工 よつ葉乳業	日本語	よつ葉乳業
	13:00 ~ 16:30	実習	よつ葉乳業 ケースディスカッション	英語	
12/18(火)	9:00 ~ 12:00	実習	レポート作成指導	英語	OBIC S4

日付	時刻	形態	研修内容	講師 使用 言語	研修場所
12/18(火)	13:00 ~ 16:30	実習	レポート作成指導	英語	
12/19(水)	9:30 ~ 16:00	発表	インテリムレポート発表会リハーサル/準備	英語	OBIC S4
	~				
12/20(木)	10:00 ~ 11:00		評価会	英語	OBIC S4
	13:00 ~ 16:30		インテリムレポート発表会	英語	オリエンテーションルーム
	16:30 ~ 17:00		閉講式	英語	OBIC S4
	17:00 ~ 18:00		閉講パーティー	英語	OBIC 会議室
12/21(金)			帰国		

年度別受入実績表

1. 応募／受入 人数

	平成24年度	累計
応募数	26名	26名
受入数	20名	20名

2. 研修員の出身国

○男性 ●女性

国 名	平成24年度	累計
アフガニスタン	○	1名
アルメニア	○●	2名
ブルキナファソ	●	1名
エジプト	●●	2名
グルジア	○	1名
モルドバ	○	1名
パキスタン	○○	2名
パレスチナ	○○	2名
ペルー	●	1名
フィリピン	●	1名
スワジランド	○○	2名
タンザニア	○●	2名
東ティモール	●	1名
トルコ	○	1名
計	14ヶ国 20名	14ヶ国 20名